

# 第 一 章 調査の目的と方法

## 第1節 調査の目的

この調査は 総合高等職業訓練校に在籍している訓練生の素質を明らかにする目的で、43年度に続いて実施されたものである。※

総合高等職業訓練校訓練生（総訓生とする）の素質を把握する角度は、前年度と同様であり、次のごとくである。

- 1 知能水準の実態
- 2 職業適性の実態
- 3 職業興味の実態
- 4 出身中学校での学力の実態

## 第2節 調査の方法

対象総訓生に対して、知能検査、職業適性検査、職業興味検査の3種を実施するとともに、当該総訓生の出身中学校を訪問して総訓生が中学校3年次に、クラスの中でどのような位置にあつたかを学習指導要録によつて調査した。各検査の種類は、田中B式全版知能検査、労働省編一般職業適性検査（第Ⅱ形式）藤原式職業興味検査である。

調査実施時期は昭和44年10月から11月であり、訓大より専門テスターがでむいて調査した。

なお、データの集計は富士通ファコム（株）の協力をえて、FACOM 230-20コンピュータを使用し、情報処理の迅速化と、情報加工の密度を高めることができた。

## 第3節 調査対象者の選定

### (i)総合高等職業訓練校調査

昭和44年6月現在、総合高等職業訓練校（以下総高訓）の設置数は76ヶ所で、専門訓練課程7889名、転職訓練課程3295名の在籍者があつ

---

※ 調査研究報告書第15号P5 参照 1969

た。

専門訓練課程在籍者のうち、6847名(86,8%)は中学校卒業者が大半をしめており、高等学校卒業者は1042名(13,2%)である。※

この44年度調査は、上述の母集団から、ランダムに15校の総高訓を選定し、※専門訓練課程1年在籍者1714名、(そのうち274名(16,0%)が高卒訓練生)を調査対象とした。

訓練校別の調査人数は第1表のごとくである。

高卒訓練生の比較的多く入校している訓練校は、「04」、「06」、「10」、「13」、「14」の各訓練校である。一方中卒訓練生がほとんど全員の(つまり高卒者がほとんどいない)訓練校は、「03」、「07」、「08」、「09」、「12」、「15」である。

第2表は訓練職種別の調査人数をしめしている。

調査した訓練職種のうち、訓練生数の多かつた職種は、電気科、機械科、自動車整備科、板金科、溶接科、木工科で分析の主軸にした職種である。

これらの職種のうち、高卒者が比較的多く在籍している職種は電子科、電気科、自動車整備科、製図科、織機調整科である。

なお、第3表は、各訓練校の職種科構成、および訓練生数を示している※

---

※東京都専修校44年6月在籍者数：中卒870(33.4%)、高卒1604(61.6%)  
短大卒42(1.6%)大卒86(3.4%)

※選定した15校のうち、「10」「12」「14」「15」の4総高訓は前年43年度の対象校でもあつた。

※各科のクラス構成は、中卒者、高等学校卒業者が混在している。

第1表 総高訓別調査対象人数

総訓名	人数		高卒率
	中卒	高卒	
01	164	15	8.3
02	118	17	12.6
03	96	0	0
04	70	28	28.6
05	99	13	11.6
06	52	36	40.1
07	80	1	1.2
08	70	1	1.4
09	116	0	0
10	46	77	62.6
11	163	36	18.1
12	121	1	0.8
13	50	18	26.5
14	80	31	27.9
15	115	0	0
合計	1440	274	16.0
	1714		

第2表 職種別調査対象人数

職種	人数		高卒率(%)
	中卒	高卒	
電子	58	24	29.2
電気	165	21	11.3
機械	300	19	6.0
仕上	96	3	3.0
精機	52	2	3.7
自動車	147	104	41.4
板金	121	12	9.0
溶接	128	10	7.2
鋳物	57	0	0
配管	2	5	(71.4)
木工	142	2	1.4
塗装	33	2	5.7
ブロック	19	0	0
製図	0	25	100.0
織機	6	15	71.4
フライス	24	0	0
銅器	4	0	0
製罐	18	0	0
第2自動車	35	31	47.0
電工	13	0	0
建築	19	0	0

第3表 職種別および訓練校別調査対象人数

校名	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	合計
職種																
電子					21	17					13		11		20	82
電機	32	24						20	17	8	23	27	14	21		186
機械	35	25	18	19	18	15	14	25	23	11	22	29	21	20	24	319
仕上	27	21					11		13	5					22	99
精機		23			15					5	11					54
自動車		22	15	25	34	23	10	9		25	19	16	13	20	20	251
板金			12	14			12	17	18	17	13			16	14	133
溶接	21		11			14	12		19	14	14	19		14		138
鋳物	23		13	5			7		8		1					57
配管										7						7
木工	26	20	13			9					15	17	9	20	15	144
塗装						10	10			5	10					35
ブロック							5					14				19
製図	15										10					25
織機				21												21
フライス			10	14												24
銅器			4													4
製罐									18							18
第2自動車					24					26	16					66
電工											13					13
建築											19					19
合計	179	135	96	98	112	88	81	71	116	123	199	122	68	111	115	1714

(ii) 総高訓在籍者の中学校訪問調査

昭和44年度総訓へ、最も多く生徒を進ませている中学校を各総高訓ごとに1-2校選定した。

今回調査実施した中学校は19校、44クラス、生徒数941名で、総高訓在籍者92名の中学校第3年次における知能および学力等のデータが得られた。

(第4表参照)

第4表 中学校訪問調査対象人数

区分 訓練校	中学校数	クラス数	総訓生数	調査総数
01	2	6	22	126
02	1	3	7	(65)
03	1	5	5	129
04	2	4	6	84
05	2	2	4	42
06	1	4	11	80
07	3	5	5	(123)
08	2	5	8	(83)
09	1	3	12	(65)
14	2	5	6	(105)
15	2	2	6	39
TOTAL	(19)	(44)	(92)	(941)
	10	23	54	493

( ) 進路別集計に加えなかつた数を合計した数